～～第７６６７回～～

七面山

～Ｈ２７．５．１６－１７～

　1日目：小雨降る中、車2台で、焼津駅北口を6：30に発って、東名・新東名・R-52経由で早川町羽衣の表参道登山口に8：45到着した。雨衣を着て準備運動して歩き出したが、30分ほどで雨が止み雨衣を脱いだ。当日はすでに白装束の大勢の信者が数班に分かれて登っており、山間から「南無妙法蓮華経」が聞こえていた。登山口の標高は約500ｍ、敬慎院は約1,700ｍ、七面山山頂は1,989ｍである。登山口を元丁目、敬慎院を50丁目として1丁目ごとに石灯篭と屋根付の2~3人掛けの長椅子が置いてあった。また、登山者や参拝者が自由に休める茶屋兼宿坊が4ヶ所あり、天候急変や事故発生時にも安心である。参道は、未舗装で広いがずうっと登りの連続、平らな所さえなかった。47丁目の和光門からが境内で、48丁目の鐘楼で鐘を突き、彼岸の中日の旭光が富士山から登り門を通って本堂の本尊を照らすことで知られる49丁目の随身門を通って、50丁目の本堂に到着すると、大勢のお坊さんが迎えてくれた。宿泊の手続きが済むと暖房された部屋に案内され、入浴も可能。汗を流して17：30からの夕食までゆっくりした。18：30からは本堂で本尊を拝する開扉式に参加し、続いて19：00から20：30まで夕勤。21：00消灯で就寝した。

2日目：4：00起床。4：30から朝勤であったが、天気が良かったので随身門前の広場で御来光を拝んだあと本堂に入り朝勤に参加した。5：30から朝食をとり身支度をして、ザックを寺に預けたまま、随身門前で軽く体操し、高度差約300ｍの七面山へ。途中、ナナイタガレを覗いたりしながら登った。頂上は木立が多く眺望がない。記念写真を撮って下山した。帰りは得意の下り坂、楽々下りて登山口近くにあるお万の方が身を清めたという白糸の滝を見た後帰路に就いた。

敬慎院の宿泊最大可能人数は約1、000名で、当日は約450名の宿泊だったそうです。料金5,200円/人(2食付)、食事は般若蕩付の精進料理(部屋食)、20畳(10畳2間)をゆったり使用、寝具は約2×4.5ｍの布団を2枚連ねて敷き川の字に寝た。

参加者；焼津9名

天候；①小雨のち曇、②晴

地図：七面山

コースタイム；①登山口900…敬慎院1400-620…山頂710-25…敬慎院800-820…登山口1120

記録：焼津支部　伏見